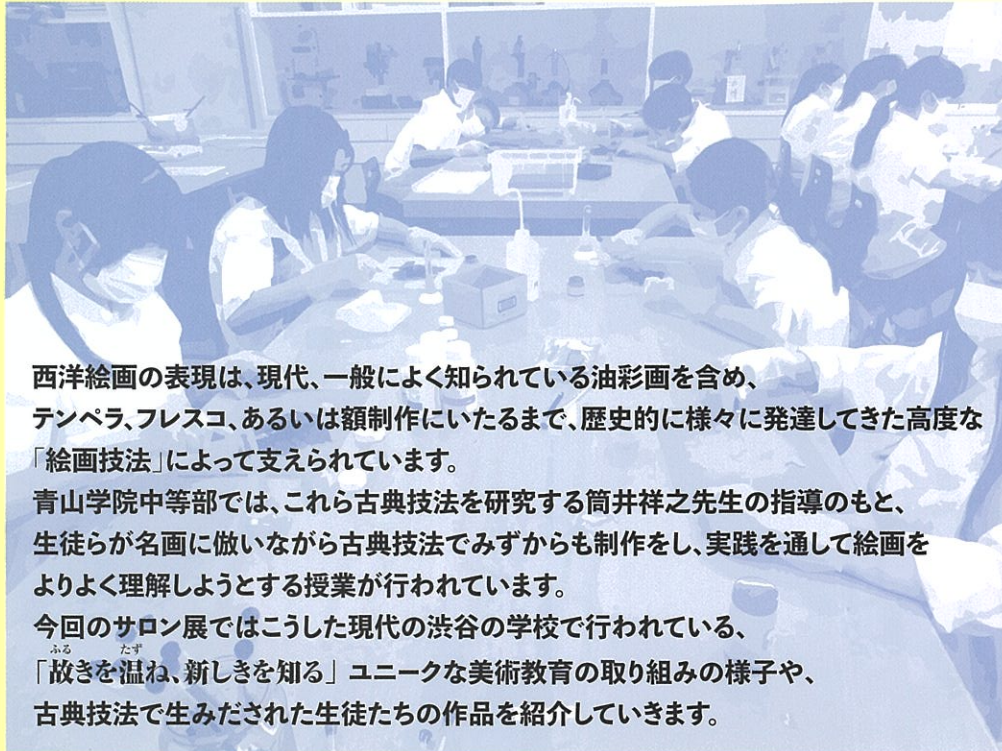


サロン展

# 温故知新 古典技法で 名画の魅力をまなぶ

—青山学院中等部のとりくみ—



青山学院中等部 授業風景 選択美術(顔料の水練りの場面)

西洋絵画の表現は、現代、一般によく知られている油彩画を含め、  
テンペラ、フレスコ、あるいは額制作にいたるまで、歴史的に様々な発達してきた高度な  
「**絵画技法**」によって支えられています。  
青山学院中等部では、これら古典技法を研究する筒井祥之先生の指導のもと、  
生徒らが名画に倣いながら古典技法でみずからも制作をし、実践を通して絵画を  
よりよく理解しようとする授業が行われています。  
今回のサロン展ではこうした現代の渋谷の学校で行われている、  
「**故きを温ね、新しきを知る**」ユニークな美術教育の取り組みの様子や、  
古典技法で生みだされた生徒たちの作品を紹介していきます。



筒井 祥之 《シモーネ・マルティーニノ受胎告知 14世紀(模写)》 1992年  
絵画:板、石膏、金箔水押し、パンチング、卵黄テンペラ、ミッショーネ  
額縁:木、石膏、バスターリリア、パンチング、古色仕上げ



筒井 祥之 《18世紀 ポローニャ額縁 (模刻)》



生徒作品《アクセリ・ガッレン=カッレラ/ケイテレ湖 1906年(模写)》  
2023年 テンペラ・ミスタ

特別陳列：小企画

## 渋谷区立松濤美術館所蔵作品展示

# 「人と動物のカタチ」

かつて渋谷に在住し近年ご寄贈を受けた画家・森芳雄(1908-1997年)のドローイング作品など、  
作家が生きて生けるものの姿の描写を重ね、その生命を造形上にとどめようとした作品を紹介します。



森芳雄 《無題》 制作年不詳 木炭、紙 渋谷区立松濤美術館蔵

2025年  
2/23 日(祝) ▶ 3/16 日

開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

※最終日は地下1階公募展会場のみ午後4時開場

休館日 月曜日(2月24日は開館)、2月25日(火)

会場 2階サロンミュージゼ・特別陳列室

主催 渋谷区立松濤美術館

同時開催 2025松濤美術館公募展

ギャラリートーク

2/23 日(祝)・3/16 日

各日午後2時～ 約30分

※無料 ※事前予約の必要はありません

入館料無料

ADMISSION FREE

※会期や開館時間、イベント等変更する場合があります。  
最新情報は当館ホームページ等でご確認ください。



渋谷区立 松濤美術館

THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046

東京都渋谷区松濤2-14-14

TEL.03-3465-9421

<https://shoto-museum.jp>

案内板設置場所

